

# 今西順吉教授略年譜

- 昭和十年三月三日 東京都に生まれる
- 昭和二十八年三月 東京都立日比谷高等学校卒業
- 昭和二十八年四月 東京大学教養学部入学
- 昭和三十二年三月 東京大学文学部印度哲学梵文学科卒業
- 昭和三十二年四月 東京大学大学院人文科学研究所印度哲学専門課程入学
- 昭和三十四年三月 東京大学大学院人文科学研究所博士課程印度哲学専門課程修了
- 昭和三十四年四月 東京大学大学院人文科学研究所博士課程印度哲学専門課程入学
- 昭和三十九年九月 ゲッティンゲン大学（インド学仏教学）留学（昭和四十一年六月まで）
- 昭和四十一年九月 東京大学大学院人文科学研究所博士課程印度哲学専門課程単位取得退学
- 昭和四十一年十月 北海道大学文学部専任講師（インド哲学講座）
- 昭和四十二年六月 日本印度学仏教学会評議員（平成八年三月まで）
- 昭和四十三年十月 北海道大学文学部助教
- 昭和四十四年六月 第十一回日本印度学仏教学会賞受賞
- 昭和五十六年四月 札幌大学教養部講師（非常勤、昭和五十八年三月まで）
- 昭和五十六年四月 金沢大学文学部講師（非常勤、昭和五十七年三月まで）
- 昭和五十六年十月 日本宗教学会評議員（現在に至る）

- 昭和五十八年六月  
昭和六十年四月  
昭和六十年十一月  
昭和六十二年八月  
平成元年四月  
平成二年二月  
平成二年四月  
平成三年四月  
平成三年四月  
平成四年二月  
平成四年十月  
平成四年十二月  
平成六年四月  
平成七年十二月  
平成八年四月  
平成八年四月  
平成八年四月  
平成十年四月  
平成十二年四月
- 比較思想学会評議員（現在に至る）  
 仏教思想学会評議員（現在に至る）  
 北海道印度哲学仏教学会常任理事（平成二十五年三月まで）  
 北海道大学文学部教授（平成八年三月まで）  
 東京大学文学部講師（非常勤、平成二年三月まで）  
 北海道大学大学院委員会委員（平成三年一月まで）  
 東北大学文学部講師（非常勤、平成三年三月まで）  
 日本印度学仏教学会理事（平成八年三月まで）  
 日本仏教学会理事（平成八年三月まで）  
 北海道大学評議員（平成八年三月まで）  
 南アジア学会理事（平成八年十月まで）  
 第八回東方学術賞受賞  
 北海道大学文学部長・同大学院文学研究科長（平成八年三月まで）  
 インド思想史学会評議員（現在に至る）  
 国際仏教学大学院大学教授  
 北海道大学名誉教授  
 京都大学文学部講師（非常勤、平成九年三月まで）  
 仏教思想学会理事（現在に至る）  
 法政大学講師（非常勤、平成十五年三月まで）

平成十三年五月 学校法人 国際仏教学院理事（現在に至る）  
平成十四年四月 国際仏教学大学院大学学長（平成十七年五月まで）  
平成十七年四月 学校法人 国際仏教学院理事長（現在に至る）  
平成二十一年四月 国際仏教学大学院大学学長（平成二十六年三月まで）  
平成二十九年三月 国際仏教学大学院大学教授を退職

# 今西順吉教授著作目録

## 著書

- Das Pañcavastukam und die Pañcavastukavibhāṣā:*  
Abhidharmatexte in Sanskrit aus den Turfanfunden  
I (Nachrichten der Akademie der Wissenschaften in  
Göttingen, I. Philologisch-Historische Klasse)      Vandenhoek & Ruprecht, Jahrgang 1969 Nr. 1. 31p.
- Fragmente des Abhidharmatrakaraṇabhāṣyam in Text  
und Übersetzung:* Abhidharmatexte in Sanskrit aus  
den Turfanfunden II (Nachrichten der Akademie  
der Wissenschaften in Göttingen, I. Philologisch-  
Historische Klasse)      Vandenhoek & Ruprecht, Jahrgang 1975 Nr. 1. 54p.
- 『漱石文学の思想』第一部 自己形成の苦惱      筑摩書房 一九八八年八月 五六〇頁  
『漱石文学の思想』第二部 自己本位の文学      筑摩書房 一九九二年一月 六三五頁  
『『心』の秘密―漱石の挫折と再生―』      トランスビュー 二〇一〇年四月 四〇八頁

編(共)著

『サーンキヤ・ヨーガ学派の研究』

〔北海道大学文学部印度哲学研究室〕 一九七九年三月  
四五頁

『後期サーンキヤ・ヨーガ学派の研究』(昭和五六年度

〔北海道大学文学部印度哲学研究室〕 一九八二年三月

科学研究費補助金(一般研究C) 研究成果報告書)

縦組六四頁、横組二二頁

『叙事詩の哲学思想研究』(科学研究費研究報告書(課題

一九八九年 xviii、九八頁

番号62510013) 昭和六二年度―昭和六三年度)

『創造性―文化を築き科学を進める力―』北海道大学放送

北海道大学図書刊行会 一九八九年九月 一七〇頁

講座 第二章『革新としての宗教―古代インド仏教

(二三一―二四頁、二五―三五頁)

―』第三章『危機に立つ生きがい―現代の課題と宗教―』

『ヨーガ―禪定思想に関する構造的比較研究―』(平成五

一九九三年、一九頁、二五〇頁

年度―平成七年度科学研究費補助金(一般研究C) 研究

成果報告書)

*An Index to the Bhagavadgītā with Reverse Index,*

Seminar of Indian Philosophy, Faculty of Letters,

*Based on the Text of the Poona Critical Edition.*

Hokkaido University, Sapporo, 1993, 98p.

(The Bhagavadgītā Studies, vol. 1)

『漱石全集』第三卷『草枕』注解

『インドの自然観の研究』（平成六年度―平成八年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書）

『仏教の生命倫理』（平成九年度―平成二二年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書）

『漱石全集』第三卷『草枕』注解〔増補〕

『定本漱石全集』第三卷『草枕』注解〔増補〕

『定本漱石全集』第三卷『草枕』注解〔増補〕

## 論文

サーンキヤ頌の系譜―第七・九頌をめぐって―

大乘『大般涅槃經』に言及されたサーンキヤ思想

サーンキヤ哲学に於けるプルシャ観の一つの問題―

adishāhār に ついて

マーダヴァ『全哲学綱要』の一考察―第14章「サーンキヤ哲学」の文献学的研究―

ヨーガ

岩波書店 一九九四年二月 四六一―五〇六頁

国際仏教学大学院大学 一九九九年 八八頁 図版四

枚 折り込み年表一枚

国際仏教学大学院大学 二〇〇一年 v、九二頁

岩波書店 二〇〇二年六月 四六一―五〇八頁

岩波書店 二〇一七年二月 四六一―五〇八頁

『印度学仏教学研究』第八卷第二号 一九六〇年三月

一五八―一五九頁

『印度学仏教学研究』第九卷第二号 一九六一年三月

一七四―一七九頁

『印度学仏教学研究』第一三卷第二号 一九六五年三

月 一六二―一六九頁

『古代学』第一二卷第二・三号 一九六五年十一月

九一―一〇八頁

『講座東洋思想』第一卷「インド思想」宇野精一〔ほ

parinama に ついて

か」編 東京大学出版会 一九六七年五月 一二二—  
一四四頁

『印度学仏教学研究』第一六卷第二号 一九六八年三  
月 一六七—一七五頁

竜樹によつて言及されたサーンキヤ思想—初期中観派  
におけるサーンキヤ思想(一) —

『北海道大学文学部紀要』一六ノ二 一九六八年三月  
三七—九六頁

因中有果の論証法

『印度学仏教学研究』第一七卷第二号 一九六九年三  
月 五七—六三頁

ナチケータス物語をめぐつて

『宗教研究』第一九九号 一九六九年六月 四五—六  
七頁

提婆・婆藪によつて言及されたサーンキヤ思想—初期

『北海道大学文学部紀要』一八ノ一 一九七〇年三月  
六三—一〇一頁

中観派におけるサーンキヤ思想(二) —  
ヨーガの師—自在神について—

『日本仏教学会年報』第三六号 一九七一年三月 一  
—一五頁

(再録)

『仏教と教育の諸問題』日本仏教学会編 平楽寺書店

一九七一年十一月 一—一五頁

『チャラカ本集』の哲学思想(一)

『北海道大学文学部紀要』一九ノ四 一九七一年三月  
一一—二二頁

ヨーガ学派と仏教

『印度学仏教学研究』第二〇卷第二号 一九七二年三

月 一三三―一三〇頁

根本原質の考察―タットヴァサングラハ第一章訳註―

『北海道大学文学部紀要』二〇ノ二 一九七二年七月  
一四九―一二七頁

バラモンの生き方

『東洋学術研究』第一一巻第二号 一九七二年七月  
三〇―四三頁

品類足論の成立試論(一)

『三蔵』(国訳一切経印度撰述部毘曇部第二六卷下月報)  
一一九 大東出版社 一九七六年十月 一―八頁

品類足論の成立試論(二)

『三蔵』(国訳一切経印度撰述部毘曇部第二七卷月報) 一  
二〇 大東出版社 一九七六年七月 一―八頁

品類足論の原文について

『北海道大学文学部紀要』二五ノ二 一九七七年三月  
一―三七頁

ブツダと精神的風土

『現代思想』一二月臨時増刊号(第五卷第一四号) 一  
九七七年十二月 七四―八一頁

インド哲学と因果論(サーンキヤ哲学を中心に)

『仏教思想』3 因果 仏教思想史研究会編 平楽寺  
書店 一九七八年二月 四四七―四七二頁

『チャーンドーギヤ・ウパニシャッド』第七章の研究

『北海道大学文学部紀要』二七ノ二 一九七九年三月  
一―三七頁

(再録)

『サーンキヤ・ヨーガ学派の研究』今西順吉編 一九  
七九年三月 一一―二八頁



サーンキヤの名称

ギター・テキストの問題

漱石の核 (一)

漱石の核 (二)

漱石とアートマン論

ヨーガの語義

鷗外とアショーカ王研究

アショーカ王研究

インダス文明の印章文様について

『サーンキヤ頌』の譬喩

『サーンキヤ・ヨーガ学派の研究』 今西順吉編 一九七九年三月 一一一〇頁

『サーンキヤ・ヨーガ学派の研究』 今西順吉編 一九七九年三月 二九一四五頁

『春秋』 第二〇七号 一九七九年八月 五―八頁

『春秋』 第二〇八号 一九七九年十月 九―一二頁

『比較思想研究』 第六号 一九七九年十二月 三二―四四頁

『印度学仏教学研究』 第二八卷第二号 一九八〇年三月 四四―四六頁

『古田紹欽博士古稀記念論集 仏教の歴史的発展に見る諸形態』 古田紹欽博士古稀記念会編 創文社 一九八一年六月 四七五―四九〇頁

『勝又俊教博士古稀記念論集 大乘仏教から密教へ』 勝又俊教博士古稀記念論文論文集刊行会編 春秋社 一九八一年九月 六一三―六二六頁

『宗教研究』 第二五〇号 一九八二年二月 八九―九一頁

『印度学仏教学研究』 第三〇卷第二号 一九八二年三月 一頁

和辻哲郎と夏目漱石

月 三三〇—三三六頁  
『比較思想研究』第九号 一九八二年十二月 二六一—二六八頁

ヨーガ学派の心作用論

『印度学仏教学研究』第三二卷第二号 一九八四年三月 三三三—三三六頁

漱石と仏教—『思ひ出す事など』を中心に—

『理想』第六二二号 一九八五年三月 一一一—一三三頁

漱石の『行人』と仏教

『比較思想研究』第二二号 一九八六年二月 一〇四—一二三頁

Kulaの概念について

『日本仏教学会年報』第五一号 一九八六年三月 五四—五五五頁

我と無我

『印度哲学仏教学』第一号 一九八六年十月 二八—四三頁

言語世界の構造とその破壊—『中論』の言語哲学について—

『印度哲学仏教学』第二号 一九八七年十月 五七—八七頁

明治知識人と仏教—夏目漱石をめぐる—

『論集日本仏教史』第八卷「明治時代」池田英俊編 雄山閣出版 一九八七年十二月 二二九—二八八頁

サーンキヤ(哲学)とヨーガ(実修)

『岩波講座 東洋思想』第五卷「インド思想」長尾雅人「ほか」編集 岩波書店 一九八八年三月 一三

『中論』の原典について

五一―一七〇頁

サーンキヤとヨーガの語義

『成田山仏教研究所紀要』第一一号 仏教思想史論集  
II 一九八八年三月 九一―一〇四頁

『印度哲学仏教学』第三号 一九八八年十月 六四―  
八四頁

中世インド思想の生死観

『仏教における生死観の総合的研究』（昭和六二―昭和  
六三年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書）  
藤田宏達編「北海道大学文学部」 一九八九年三月  
二四―三二頁

「ギター文献」について

『印度学仏教学研究』第三七卷第二号 一九八九年三  
月 一一―一〇頁

ウッターラカ哲学研究序説

『藤田宏達博士還暦記念論集 インド哲学と仏教』藤田  
宏達博士還暦記念論集刊行会編 平楽寺書店 一九八  
九年十一月 一一―一六頁

漱石と井上哲次郎の「印度哲学史」講義

『松ヶ岡文庫研究年報』第四号 一九九〇年三月 六  
一―八五頁

無我説における我の概念（一）

『印度哲学仏教学』第五号 一九九〇年十月 三九―  
六六頁

わが国最初の「印度哲学史」講義（一）―井上哲次郎

『北海道大学文学部紀要』三九ノ一 一九九〇年十一

の未公刊草稿―

わが国最初の「印度哲学史」講義(二)―井上哲次郎

の未公刊草稿―

『ギーター』の神観念と大乘仏教

『金七十論』の本文批評―末尾の検討―

無我説における我の概念(二)

わが国最初の印度哲学史講義(三)―井上哲次郎の未公

刊草稿―

『草枕』注解補足

森鷗外とサーンキヤ哲学

ウッダーラカ哲学における伝統と革新

tatvaの語義

月 一―八二頁

『北海道大学文学部紀要』三九ノ二 一九九一年二月

一―七七頁

『印度学仏教学研究』第三九卷第二号 一九九一年三

月 二七六―二八二頁

『前田専学博士還暦記念論集 〈我〉の思想』 東京大学

文学部印度哲学研究室編 春秋社 一九九一年十月

四一七―四二七頁

『印度哲学仏教学』第六号 一九九一年十月 一―二

四頁

『北海道大学文学部紀要』四二ノ一 一九九三年十一

月 一―六四頁

『漱石全集』第三卷月報 岩波書店 一九九四年二月

一―二頁

『比較思想研究』第二〇号 一九九四年三月 六五―

七三頁

『宗教研究』第二九九号 一九九四年三月 一八九―

一九〇頁

『印度学仏教学研究』第四五卷第二号 一九九七年三

唯識思想のインド哲学史的背景

月 一七九—一八五頁

『宗教研究』第三二一号 一九九七年三月 一八六—一八七頁

*Dhammapada* の伝承と詩の変形

『宗教研究』第三二五号 一九九八年三月 一九九—二〇〇頁

仏陀と神々

『松ヶ岡文庫研究年報』第二二号 一九九八年三月 四九—六四頁

アショーカ王法勅の *sambodhi* について (一)

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第一号 一九九八年三月 三五—六〇頁

アショーカ王法勅の *sambodhi* について (二)

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第二号 一九九九年三月 五七—八二頁

何故 *atman* なのか

『印度学仏教学研究』第四八卷第一号 一九九九年十二月 二七五—二八一頁

現代の課題とインド的自然観の問題

『インド的自然観の研究』一九九九年 四—一四頁

漱石と仏教

『現代日本と仏教』Ⅲ 「現代思想・文学と仏教—仏教を超えて」 池田英俊「ほか」編 平凡社 二〇〇〇年六月 二〇八—二二四頁

空と空性について

『戸崎宏正博士古稀記念論文集 インドの文化と論理』 赤松明彦編 九州大学出版会 二〇〇〇年十月 二九

井上哲次郎の開拓者の意義

—四三頁

十二縁起の思想—和辻哲郎『原始仏教の実践倫理』を中心

月 二〇—二六頁

『仏教の生命倫理』二〇〇一年 一—五三頁

に—

原始仏教教団の危機意識—阿闍世王の無根信の意味—

『印度学仏教学研究』第五二卷第一号 二〇〇三年十二月 二二—三〇頁

沙門果経異本に見る小乗と大乘

『宗教研究』第三三九号 二〇〇四年三月 二二—二七頁

無根信について—沙門果経研究(二)—

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第七号 二〇〇四年三月 一—二八頁

和辻哲郎の縁起研究

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第八号 二〇〇四年三月 一—五二頁

四聖諦とブツダ

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第一〇号 二〇〇六年三月 一—四〇頁

大乘經典の成立根拠としてのブツダとその教え—法華

経を一事例として—

『仏教学』第四八号 二〇〇六年十二月 一—一八頁

金剛寺本阿含経について「講演資料」

『漢訳仏典研究の新たな展開—国際シンポジウム 講演資料集—』 国際仏教学大学院大学学術フロンティア

(再録)

実行委員会 二〇〇六年十二月 七五―八四頁

『古写経研究の最前線―シンポジウム講演資料集成―』

国際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会

二〇一〇年二月 七五―八四頁

『バガヴァッド・ギーター』(Ⅱ、20) 注解

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第一一〇号 二〇〇七年三月 三一〇―二六七頁

『中論』成立の背景〔講演資料〕

『仏教研究における日本古写経の意義―デジタル化の完成に向けて 公開シンポジウム 講演資料集―』 国際仏

教学大学院大学学術フロンティア実行委員会 二〇〇九年十二月 一四―二〇頁

(再録)

『古写経研究の最前線―シンポジウム講演資料集成―』

国際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会

二〇一〇年二月 一四―二〇頁

仏陀と人間

『浅草寺仏教文化講座』第五四集 二〇一〇年八月

四八―六一頁

『第一義空経』的成立與其影響

『佛教文獻與文學』佛光文化事業有限公司 二〇一一年十月 三一―二〇頁

観世音菩薩の原語とその意義―普門品の分析を通して―

『伊藤瑞叡博士古稀記念論文集 法華仏教と関係諸文化の研究』 伊藤瑞叡博士古稀記念論文集刊行会編 山

仏教とウツダーラカの哲学

喜房佛書林 二〇一三年 一九一―二〇〇頁

『国際仏教学大学院大学研究紀要』第二〇号 二〇一六年三月 二四二―二二三頁

書評

シユヴァイツァー著、中村元・玉城康四郎共訳『イン

ド思想家の世界観―神秘主義と倫理―』

杉本卓洲著『インド仏塔の研究―仏塔崇拜の生成と基盤

―』

中村元著『インド論理学の理解のために』

『仏教文化』第一卷第一号(復刊) 一九五八年五月

四〇頁

『宗教研究』第二六五号 一九八五年九月 一〇三一

一〇六頁

『印度哲学仏教学』第一号 一九八六年十月 二九七

―二九八頁

金倉円照訳『シャンカラの哲学』上・下

『印度哲学仏教学』第二号 一九八七年十月 三六四

―三六五頁

久保継成著『法華経菩薩思想の基礎』

『印度哲学仏教学』第二号 一九八七年十月 三七〇

―三七一頁

三枝充恵著『中論偈頌総覧』

『印度哲学仏教学』第三号 一九八八年十月 三七四

―三七五頁

前田専学編『東洋における人間観―インド思想と仏教を

『印度哲学仏教学』第三号 一九八八年十月 三八〇



中心として』

仏教思想研究会編『死』（仏教思想10）

—三八一頁

『印度哲学仏教学』第四号 一九八九年十月 三五九

—三六〇頁

中村元選集「決定版」第8巻『ヴェーダの思想』

『週刊読書人』一九八九年十二月十一日 七頁

藤田宏達博士還暦記念論集刊行会編『藤田宏達博士還

『印度哲学仏教学』第五号 一九九〇年十月 三六〇

暦記念論集 インド哲学と仏教』

—三六一頁

上村勝彦著『インド古典演劇論における美的経験—

『印度哲学仏教学』第五号 一九九〇年十月 三六四

Abhinavagupta の rasa 論—

—三六五頁

中村元選集「決定版」第10巻『思想の自由とジャイナ

『印度哲学仏教学』第六号 一九九一年十月 三六五

教』

—三六六頁

前田専学編『インド中世思想研究』

『南アジア研究』第三号 一九九一年十月 一七一—

一七六頁

村上真完著『インド哲学概論』

『印度哲学仏教学』第七号 一九九二年十月 三四七

—三四八頁

伊原照蓮博士古稀記念会『伊原照蓮博士古稀記念論文

『印度哲学仏教学』第七号 一九九二年十月 三五三

集』

—三五四頁

勝呂信静著『法華経の成立と思想』

『印度哲学仏教学』第八号 一九九三年十月 三五三

—三五四頁

吉田宏哲著『空海思想の形成』

『印度哲学仏教学』第九号 一九九四年十月 三八一

一三二二頁

湯田豊著 『フロイト 『文明とそれの不満』を読む』

『神奈川大学評論』第二〇号 一九九五年三月 二〇

二頁

中村元選集「決定版」第28・29巻『インドの哲学体系

『印度哲学仏教学』第一〇号 一九九五年十月 三八

I・II』

五―二八六頁

その他

「ブラフマ・ストトラ」「マーンズキーヤ・カーリ

『新・仏典解題事典』中村元、平川彰、玉城康四郎責

カー」「ヴェーダーンタ・サーラ」項目執筆

任編集 春秋社 一九六六年九月 三三三―三三六頁

(再録)

『仏典解題事典』『新・仏典解題事典』の増補第二版

水野弘元、中村元、平川彰、玉城康四郎責任編集 一  
九七七年九月 三三三―三三六頁

「サーンキヤ学派」ほか項目執筆

『大日本百科事典』小学館 一九六七年十一月―一九

七一年九月

「愛 II」ほか項目執筆

『現代哲学事典』山崎正一、市川浩編 講談社(講談

社現代新書225) 一九七〇年四月

ガンジス河

『東方界』第一四号 一九七五年一月 五頁

漱石の挫折／修善寺の大患の意味

『北海道新聞』一九八二年六月八日 七面

渡辺照宏先生の仏教学とヨーガ

インド思想から見た生命科学

インド思想の生命観

「ダルマ」について思う

シンポジウム「インド学仏教学におけるコンピューター利用の現状と問題点」について

漱石と自然科学

石と水

藤田宏達名誉教授寄贈の『無量寿経』の梵文写本

「法華寺」ほか項目執筆

無常について

『渡辺照宏著作集』第一巻 「インドの思想」付録月報

五 筑摩書房 一九八二年八月 六一―八頁

『瓔珞』（北海道大学教養部報）第二四号 一九八三年

四月 五頁

北海道大学公開講座『人間の可能性』一九八五年二

月 四七―五二頁

『北海道印度哲学仏教学会会報』第一号 一九八七年

五月 一一―一五頁

『印度学仏教学研究』第三七卷第二号 一九八九年三

月 七九―七九二頁

『楡の風』（北海道大学工学部同窓会・楡工会）No. 19

一九九〇年三月 八―一一頁

『北海道印度哲学仏教学会会報』第四号 一九九〇年

五月 一一―一六頁

『楡蔭』（北海道大学附属図書館報）No. 8 一九九一年

七月 七―八頁

『日本名刹大事典』圭室文雄編 雄山閣出版 一九九

二年八月

『在家仏教』第四八九号 一九九三年二月 四〇―四

ことばと意味

八頁

北海道の国際性―勝海舟と渋谷利右衛門―

『北海道印度哲学仏教学会会報』第八号 一九九四年  
五月 一一―一五頁

(英訳版: Internationality of Hokkaido: Kaishu Katsuo and

―) 第十号 一九九六年三月 一頁

Riemon Shibuya)

漱石の『こゝろ』を読む①

『浄土』第六二卷五月号 一九九六年五月 三四―四

一頁

漱石の『こゝろ』を読む②

『浄土』第六二卷六月号 一九九六年六月 五二―五

九頁

釈尊と神話(講演)

『在家仏教』五四五号 一九九七年十月 五四―六三

頁

序

『インド的自然観の研究』一九九九年 一頁

佛教の人間観

『在家仏教』五六一号 一九九九年二月 一六―二五

頁

行雲流水「真空総理」の意味を考える

『在家仏教』五七三号 二〇〇〇年二月 八―一〇頁

生命倫理をめぐる仏教と現代の課題―序にかえて―

『仏教の生命倫理』二〇〇一年 i―iv頁

漱石と禅(公開講演)

『駒澤大学仏教学部論集』三二 二〇〇一年十月 二

七―四〇頁

法華經に学ぶ「連載エッセイ」(1) ～ (100)

〔監修〕

『あした21』(霊友会) 二〇〇一年六月号～二〇〇九年八月号、二〇〇九年一〇月号～十一月号

「仏説観普賢菩薩行法經」(6) ～ (13) (親子で読むマンガ法華經シリーズ) つづき佳子著 『あした21』二〇〇一年六月号～二〇〇二年一月号

〔監修〕

『法華經―化城喻品五百弟子受記品―』(親子で読むマンガ法華經シリーズ5) つづき佳子著 いんなあととりつづ社 二〇〇一年十二月 六六頁

〔監修〕

「お釈迦さまの教え」(1) ～ (69) (親子で読むマンガ仏教シリーズ) つづき佳子著 『あした21』二〇〇二年二月号～二〇〇六年四月号、二〇〇六年六月号～二〇〇七年三月号、二〇〇七年五月号～二月号

現代の落語と佛教

『在家仏教』五九九号 二〇〇二年四月 六一―六五頁

〔監修〕

『法華經―授学無学人記品法師品―』(親子で読むマンガ法華經シリーズ6) つづき佳子著 いんなあととりつづ社 二〇〇二年五月 六六頁

〔監修〕

『法華經―見宝塔品堤婆達多品―』(親子で読むマンガ法華經シリーズ7) つづき佳子著 いんなあととりつづ社

〔監修〕

二〇〇二年八月 六六頁

『法華経―勸持品安樂行品―』（親子で読むマンガ法華経シリーズ8） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇二年十二月 五八頁

〔監修〕

『法華経―從地涌出品如来寿量品―』（親子で読むマンガ法華経シリーズ9） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇三年五月 六六頁

風鐸

『在家仏教』六一七号 二〇〇三年十月 六一―八頁

〔監修〕

『法華経―分別功德品随喜功德品法師功德品―』（親子で読むマンガ法華経シリーズ10） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇三年十一月 六六頁

序

『大正蔵・中華蔵（北京版）対照目録』 国際仏教学大学院大学附属図書館編 二〇〇四年三月 vii、xii頁

〔監修〕

『法華経―常不輕菩薩品如来神力品―』（親子で読むマンガ法華経シリーズ11） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇四年三月 六六頁

二〇〇四年三月 六六頁

〔監修〕

『法華経―囑累品薬王菩薩本事品―』（親子で読むマンガ法華経シリーズ12） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇四年七月 六六頁

『仙石山論集』の刊行に寄せて

〔監修〕

『仙石山論集』第一号 二〇〇四年九月 i—ii頁  
『法華経―妙音菩薩品観世音菩薩普門品―』（親子で読むマ  
ンガ法華経シリーズ13） つづき佳子著 いんなあととりつ  
ぶ社 二〇〇四年十一月 六六頁

序

『大正蔵・敦煌出土仏典対照目録』 国際仏教学大学院  
大学附属図書館編 二〇〇五年三月 vii—ix頁

〔監修〕

『法華経―陀羅尼品妙莊嚴王本事品普賢菩薩勸発品―』（親  
子で読むマンガ法華経シリーズ14） つづき佳子著 いん  
なあととりつぶ社 二〇〇五年三月 六六頁

忠臣蔵と樅の木

『在家仏教』六三五号 二〇〇五年四月 三二六—四〇  
頁

〔監修〕

『仏説観普賢菩薩行法経1』（親子で読むマンガ法華経シ  
リーズ15） つづき佳子著 いんなあととりつぶ社 二〇  
〇五年七月 六六頁

〔監修〕

『仏説観普賢菩薩行法経2』（親子で読むマンガ法華経シ  
リーズ16） つづき佳子著 いんなあととりつぶ社 二〇  
〇五年十一月 五八頁

第2版への序

『大正蔵・敦煌出土仏典対照目録』 第2版 国際仏教  
学大学院大学附属図書館編 二〇〇六年一月 vii—xii

日本古寫經善本叢刊發刊の辭

頁

『玄應撰 一切經音義 二十五卷』(日本古寫經善本叢刊第一輯) 國際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編 二〇〇六年三月

序

『日本現存八種一切經対照目録』 國際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編 二〇〇六年三月

発刊の辭

『いとくら』 創刊号 二〇〇六年三月 一頁

緒言

『大乘起信論』(日本古寫經善本叢刊第二輯) 國際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編 二〇〇七年三月

〔監修〕

「お釈迦さまの弟子たち」(1)～(20)(親子で読むマングラム教シリーズ) つづき佳子著 『あした21』 二〇〇八年一月号～二〇〇九年九月号

刊行によせて

『佛敎文献と文學―日臺共同ワークショッブの記録2007』 國際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会、京都大学人文科学研究所21世紀COE実行委員会編 二〇〇八年九月 i―iv頁

緒言

『金剛寺 藏觀無量壽經無量壽經優婆提舍願生偈註卷下』(日本古寫經善本叢刊第三輯) 國際仏教学大学院大



《筆録》無我ということ

〔監修〕

学術フロンティア実行委員会編 二〇〇八年十二月  
『在家仏教』六八三号 二〇〇九年四月 一二—三二  
頁

〔監修〕

『お釈迦さまの教え 第一巻 四聖諦・八正道1』（親子で読むマンガ仏教シリーズ4） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇九年五月 六六頁

〔監修〕

『お釈迦さまの教え 第二巻 八正道2』（親子で読むマンガ仏教シリーズ5） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇九年八月 六六頁

〔監修〕

「絵で読む「弥勒経」の世界」(1) (29) つづき佳子著『あした21』二〇〇九年十月号〜二〇一二年二月号

緒言

『お釈迦さまの教え 第三巻 八正道3』（親子で読むマンガ仏教シリーズ6） つづき佳子著 いんなあととりつぷ社 二〇〇九年十一月 六六頁

学術フロンティア満期完了のお礼

『徳運寺の古寫經―愛知縣新城市徳運寺古寫經調査報告書』  
国際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編  
二〇〇九年十二月 i—ii頁  
『いとくら』第五号 二〇〇九年十二月 一頁

未来を拓く弥勒さま「連載エッセイ」(1) ～ (26)

〔監修〕

『あした21』二〇〇九年二月号～二〇一〇年八月号、  
二〇一〇年十月号～二〇一二年二月号

『お釈迦さまの教え 第四卷 十二因縁』（親子で読む  
マンガ仏教シリーズ7） つづき佳子著 いんなあととりつ  
ぶ社 二〇一〇年二月 六六頁

緒言

『集諸經禮懺儀卷下』（日本古寫經善本叢刊第四輯） 国  
際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編

二〇一〇年二月

〔監修〕

『お釈迦さまの教え 第五卷 三法印1』（親子で読む  
マンガ仏教シリーズ8） つづき佳子著 いんなあととりつ  
ぶ社 二〇一〇年五月 六六頁

〔監修〕

『お釈迦さまの教え 第六卷 三法印2』（親子で読む  
マンガ仏教シリーズ9） つづき佳子著 いんなあととりつ  
ぶ社 二〇一〇年八月 六六頁

日本古寫經研究の課題

釈尊に導かれて「連載エッセイ」 1～52

『いとくら』第六号 二〇一〇年十二月 一頁

『あした21』二〇一二年三月号～二〇一三年五月号、  
二〇一三年七月号～二〇一六年七月号

〔監修〕

『お釈迦さまの弟子たち』 つづき佳子著 『あした21』  
二〇一二年三月号～二〇一六年五月号

緒言

『金剛寺藏 寶篋印陀羅尼經』（日本古寫經善本叢刊第六輯） 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所文科省戦略プロジェクト実行委員会編 二〇一三年二月 三一四頁

緒言

『國際佛教學大學院大學藏・金剛寺藏 摩訶止觀 卷第一』（日本古寫經善本叢刊第七輯） 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所文科省戦略プロジェクト実行委員会編 二〇一四年三月 三一四頁

緒言

『續高僧傳 卷四 卷六』（日本古寫經善本叢刊第八輯） 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所文科省戦略プロジェクト実行委員会編 二〇一四年三月

世界の漱石へ

『在家仏教』七四九号 二〇一四年一〇月 一頁

緒言

『高僧傳 卷五 続高僧伝 卷二八・卷二九・卷三〇』（日本古寫經善本叢刊第九輯） 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所文科省戦略プロジェクト実行委員会編 二〇一五年三月

漱石の『心』について

『在家仏教』七七四号 二〇一六年一月 三六一―三七頁

〔監修〕

「マンガで読むわかりやすい法華経」(1) (10)

法華經の時代〔連載エッセイ〕(1) ～ (8)

つづき佳子著『あした21』二〇一六年六月号～二〇一七年三月号

『あした21』二〇一六年八月号～二〇一七年三月号

〔付記〕 本著作目録の作成にあたり、北海道大学の林寺正俊准教授にご協力いただきました。ここに記して感謝の意を表します。(国際仏教学大学院大学附属図書館長 藤井教公)